

第1回 固体飛跡検出器研究会

日時 昭和58年4月1日(金) 午後1時半～5時半
 場所 立教大学セント・ポールズ会館二階会議室(豊島区西池袋三丁目) Tel. 03-985-3634

プログラム

1:30～1:35

① はじめに 早大理工研 道家 忠義

1:35～2:10

② トリプシオン77による年代測定法 立大教養 鈴木 正男

2:10～2:45

③ SSTDを用いた $^9\text{Be}(\pi\text{-}^n\text{N})^8\text{Li}$ 反応の反応機構について

2:45～3:00

京大原子炉実験所 林 茂樹
 ④ 地震予知のためのラドン定期観測における高濃度 ^{222}Rn スポットについて
 地質調査所 加藤 完

3:00～3:15

⑤ スーパー7計数法の現状と特質 近畿大 河合 広・森島 彌重
 原子力研究所 古賀 妙子・丹羽 健夫

3:15～3:30

— 休憩 —

3:30～3:45

⑥ SSTDの中性子線量計測への利用 — 筑波大基礎医学系 松田 晋雄

3:45～4:00

⑦ 原子核乾板中の低速重荷電粒子の飛跡中 日大・生産工学 小倉 統一
 玉井 英次

4:00～4:15

⑧ 放射線照射前中後の加熱によるCR-39の特性変化 日大工学 小倉 統一
 玉井 英次

4:15～4:30

⑨ CR-39の諸特性 早大理工研 林 孝義

4:30～4:45

⑩ CR-39の感度とエッチング特性 宇宙科学研 藤井 正美

4:45～5:00

⑪ 低速陽子によるCR-39の飛跡生成 東大理 中村 正吾

5:00～5:30

研究会の今後の在り方

セント・ポールズ会館の位置

